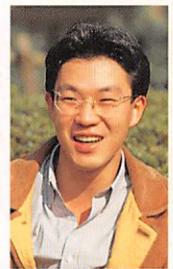
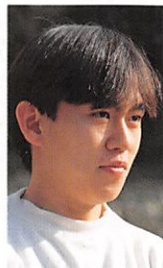


ZOOM UP



1992. No. 77



歯界展望

医療に従事する者は、まず人間性を磨くことが最も大切。人の痛みのわかる医師であれと説く。しかし「国民の総医療費はアメリカは約100兆、日本は21兆、人口が半分ならば50兆の医療費があって不思議ではないのではないか。研究開発の規模にあっては、東大でさえ、世界の大学のランキングでいえば60番台という有様なのです。」「保険診療によって、国民は大いに助かっていますが、それに携わる歯科も含めて医師は、当然ですが1対1の治療ですから、マスプロ化も出来ず、自身の



昭和大学学長

石井 淳一

身体を酷使し、患者数を多くすることで経営の安定を計ろうとしています。従って医療事故も発生する。1日20人診れば充分な時代を作っていくべきです。医に従事するもまた人間。その苦悩を語る。

昭和3年、昭和医学専門学校として設立された当校は、その後、昭和21年に昭和医科大学に昇格。さらに39年、薬学部を併設することによって昭和大学と呼称を変更。昭和52年歯学部を設立することによって、総ての医療をカバーする現在の体制を整えた。

設立時は、おそらく医科系大学にふさわしい東京郊外の丘陵地に建つ、緑豊かなキャンパスであったであろうが、現在は様相も一変、付近はマンションや住宅、商店が密集し、下

町的雰囲気すら漂う。そんなことから「当大学では新入学生総てを富士吉田の寄宿舎(寮)に入れ、最初の1年間を過ごさせます。将来進む部門は違いますが、そこでの生活が分野を越えての友を作り、自身の人生を豊かにすると考えるからです。約2万坪強の豊富な緑の中で若いうちに充分な体力と学問を身につけて欲しいですね。ゆったりとした風貌と丁寧な応対。外科医としておそらく永年、人の幸、不幸を目のあたりにして来たであろうと想像するが…。いや、それだからこそ人の気持ちを大切にしたいやんかな人柄を作り上げたのであろう。魅力ある人間的な学長である。

——歯科医師過剰と言われて久しいのですが、医科の現状については「やはり同じです。先年、医師不足と言われて各都道府県に医科大学を設立、現在国立・私立を含めて80校あります。当時は人口10万人に対し150~170人位の医師が必要と言われ設立されたのですが、今では過剰、各医科大学とも定員を1割削減しております。現在全国に医師は約20万人おりますが、その分布を見ますと、太平洋側、特に大都市に集中しています。その点は歯科医と同じ状況ですね。ただ、医師というのは本来自由業

好き嫌いなど、選ぶのは患者さんですから、それを制約するのは筋違いだと思います。」
—現在インプラントなど歯科においても人工材料を入れ、従来とは違った手法が採られています。しかし「医師界も同様に私の専門である外科分野では、人工心肺や人工臓器など長年にわたって研究。初期の頃は人体に馴染まず試行錯誤の連続で苦労しました。人体に異物を入れるわけですから、歯科におけるその手法も初めは色々な難問につき当たるでしょうが、人工血管や人工弁など、ほぼ半永久的に使用出来ることが証明されました。食べると言うことは人間にとって、最も大切な欲望の一つですから、健全な歯を持つということは大変喜ばしいことではないでしょうか。

外科医の長男として東京に生まれる。当然のごとく医科大へ、と思いきや「いや当時は戦争中でした、国は工学部出身の学生を求めているんですよ。でも私は戦争で死ぬのはいやだったんです。職業軍人となった友人はあ

の戦争で8割かた亡くなってしまいました。ちょっとリベラリスト、いやずるかったのかな、と。人なつこい笑顔(失礼)が印象的だ。——学長も時として1人の患者さん。その目で歯科医をご覧になって「私は昔から歯が弱かった。で中学の頃から歯医者さんには通っていたが今は雲泥の差。切削機器も材料も素晴らしい進歩を遂げ、苦痛も全く感じなくなりました。今後は予防も含めた全身管理へと、医・歯・薬が共同して研究。新時代に備えて行く時を迎えているのではないのでしょうか。保険などを含め医科と歯科は差がある、と言われてます。それ等の問題について「難しい質問ですね。保険点数については先述のように医療費の総料そのものか欧米先進国と比較し、格段に低いことは確かです。ただ、医科は特殊なケースを除いて差額というものはなく、総て保険です。又、疾病に対する割合も、身体は健康でも歯が悪いという人は多いと思います。双方がそうした土俵で云々することよりも、大切なのは、毎年人件費等を含め、諸物価が5%以上もあがるのに、医療費は1%台にとどまっています。大学においても——例えば病棟一つをとっても、人々の住環境が良くなっておりますから、患者さんはレベル以下の設備では満足しません。又、3Kと言われる看護婦さんは増々不足し大きな悩みとなっております。歯科病院においても同様で、設備の補充や人件費の高騰で各大学とも経営は赤字となっております。先に言いましたように、医療費そのものの上昇を。これは医科も歯科も同様であると思っております。」

全身を管理する歯科医療へ。歩んだ道は異なったが、双方が理解し、共に手を携えて進む時が、いま来ている。学長のお話から学ぶところが多い。68才である。

●略歴

- 大正12年1月 東京に生まれる
- 昭和22年9月 名古屋帝国大学医学部卒業
- 昭和23年10月 東京大学医学部副手
- 昭和26年4月 東京大学医学部第2外科教室(福田、木本教授)勤務
- 昭和36年1月 昭和医科大学教授(外科担当)
- 昭和42年6月 学校法人昭和大学理事
- 昭和49年11月 第12回日本人工臓器学会大会会長
- 昭和57年6月 昭和大学病院長(昭和61年7月まで)
- 昭和57年11月 第44回日本臨床外科医学会総会会長
- 昭和61年7月 昭和大学学長就任

わが校を語る

東京歯科大学

副学長
中久喜 喬



略歴

- 昭和23年 東京歯科医学専門学校卒業
- 昭和24年 同校研究科（口腔外科）修了
- 昭和32年 東京歯科大学助教授（口腔外科学・麻酔学）
- 昭和36年 東京医科歯科大学口腔外科学教室留学
- 昭和42年 東京大学医学部麻酔学教室留学
- 昭和43年 東京歯科大学教授（歯科麻酔学）
- 昭和52年 日本歯科麻酔学会会長
- 昭和55年 東京歯科大学学生部長
- 昭和58年 東京歯科大学千葉病院院長
- 昭和58年 学校法人東京歯科大学理事
- 昭和61年 東京歯科大学副学長
- 昭和63年 厚生省医療関係者審議会委員
- 平成元年 東京歯科大学水道橋病院院長
- 平成3年 日本歯科東洋医学会学術大会長
日本催眠学会理事（平成4年度総会会長）
- 平成4年 日本歯科麻酔学会名誉会員

平成元年新装成った東京歯科大学水道橋校舎。一階吹き抜けのロビーのイメージはここに病院があるとはとても思えない。内部をザッとご紹介すると、1階は大学の総合案内、2階が血脇記念ホール、会議室、図書分館、同窓会本部、3階・4階が各科診療室、特殊診療部及び病室等、5階は理事長室、学長室、大学法人本部、特別会議室となっている。

エレベーターに乗って3階病院受付へ。大学病院と言うと、歯科に限らず、リノリウムの床に、ベンチ式の簡易椅子、いかにも具合の悪い体の修繕場というイメージで増々気持ち落ち込んでしまうのが普通。だがこの新病院、内部のインテリアは流行のモノトーン色で統一し、床はじゅうたんという、従来の病院臭を一掃した、患者さんにとっては全く有り難い雰囲気。さすがは、と思わせる。

お会いした中久喜先生。副学長のほか当病院の病院長、同窓会の監事等々、文字通り東歯大の柱となって超多忙、大活躍の方であるが、ザックバランで洗練されたお話しは聞く側を飽きさせない。水道橋病院そして千葉病院と長年第一線で患者さんと接して来られた道程が伝わってくる。

申すまでもないが、一昨年創立100周年を迎えた日本最古の歯科大学。巣立った卒業生は12000人を超え、現在ご健在で活躍中の歯科医師もおよそ8600人。数字だけから見ても当大学が如何に日本の歯科医学・医療界に貢献して来たかがわかる。

「現在全国に同窓会支部が110ヶ所。その支部がまとまり地域支部連合会と称する11の組織があります。毎年大学の代表と同窓会の代表が各地に招かれ、歯科医療の現状や将来、又問題点等話し合う機会を持っておりますが、昨今開業の先生方からは、現状は厳しいと言う声が多いようです。大学におきましても同様で入学定員の削減、更には志願者の減少と…。その中でいかに生き抜くか。今後の大学経営も難しい時期に入って参ります。昨年7月1日付で文部省より大学設置基準の一部を改正する省令が出され、カリキュラム等も各大学の自主性に委ねられた。幸い本学では昭和44年頃から臨床教育に係わる諸問題を検討する委員会を、また60年からはカリキュラム委員会を発足させてより効果的な6年

一環教育の実施を目指しております。歯科における技術の重要性も当然でしょうが、ただどうしても卒業時の国家試験が気がかりのようで…なかなか難しいですね。近年は医療過誤その他の問題で臨床実習期の患者さんが少ないと言われてますが…「その点は本学では教員数も多いですし、その指導監督下でマンツーマンの実地教育をしますから、卒業時までには患者実習が未経験という学生はおりません。千葉病院での外来患者は1日約800人、当病院でも400人と来院患者は多く学生の臨床教育に恵まれております」。「また、千葉県・市川市にある総合病院の開設は古く昭和21年で、ここでは内・外科はむろんのこと、その他の関連医学の臨床実習で、全身から歯科を診るトレーニングを以前から実施しております。更に今春竣工する新病院は500床、16科からなる大総合病院となりますので、隣接医学を含めた歯科教育が一段と充実されると考えています」。

お生まれは東京・浅草の下町っ子。幼時病弱だったため、旧制中学はご両親の故郷茨城でまずは健康づくり。東歯卒業後は、3年程勉強したら父の許に戻る予定が、すっかりぬるま湯に浸かってしまって、とうとうここ迄来てしまいました、と笑う。「でも親父は90才まで診療しておりましたし、その姿をずっと見て育ったので、私も今後は続けられる限り、医の心を後輩に伝えるよう努力して行きたいと思っています」。

昨年12月40年余にわたり歯科医学教育の向上に貢献された実績から、第1回の「日本歯科医学会会長賞」を受賞。名実共に日本を代表する歯科麻酔学の権威者のお一人となる。

—その麻酔学の現状と将来については「私は当初の専門は口腔外科でして、顎外科の手術等をやっておりましたが、当時は局所麻酔に頼らざるをえませんでした。阿鼻叫喚、と言うんですか、患者さんの苦痛は目に余るものがありました。そこで本学でも昭和43年歯科麻酔学講座を作り口腔外科から独立した科目として独自に教育、研究、診療を始めたのです。私自身も東大医学部に内地留学し第一歩から勉強し直しました。ご存知のように、歯科麻酔では口腔外科や歯科治療の全身麻酔の他に、鎮静法がありますが、本学では臨床



教育中に必ずその実習もやらせております。今後は更に高齢化社会を迎えますから、全身疾病を持った患者さんがどんどん来院されます。そうした時に、一本の注射や過度の緊張感が一気に血圧を上げたり、心臓にストレスをかけるケースも多くなって参ります。こうしたことに備え血圧測定や脈拍、呼吸、意識などのチェックは必須条件、在学中に全身評価や患者管理も教えなければなりません。歯科における麻酔は、単に痛みをとる麻酔から、救急医学を含めた全身管理学へと範囲が広がり、将来が期待出来る分野となって行くと考えます」。

—ご開業中の読者の先生方に何か一言。「この新病院の開設にあたって航空会社を退職したスチュワーデスグループによる接遇講座を教職員全員で受けました。近頃は厚生省でも医療はサービスだと言っております。近年インフォームド・コンセントと言う言葉が流行していますが、これはいまに始まったことではなく心ある歯科医師は昔から行っていた原点です。病気は患者自身が治すもの、それを手伝うのがドクターです。患者さんの身になって接すればこそ患者さんにも信頼されるし、それが自然と言動に表れて来ます。「患者中心の医療」このことをもう一度ふり返ってみたいと思っております」。

—歯科大学における今後の方向については「先述のように本学でも大学自己評価委員会を設け、種々検討を始めました。内容は、大学の在り方・目標から始まり、その組織・機構は？教・職員の活性化を含めた人事面は？カリキュラムの改革等を含めた教育・研究活動は？施設・設備は？更には国際交流など、今後は各大学ともそうでしょうが、細部にわたっての再検討が迫られております。本学の建学の精神、血脇守之助先生がおっしゃった「歯科医師である前に人間であれ」という言葉、校歌に詠まれている「医はこれ濟生ひとへに仁なり」の一節。これを基本に、血の通った、相手の身になって行動する謙虚な歯科医師の養成を、今後も推し進めて行きたいと願っております」。

社団法人 東京都歯科医師会

〈役員〉

会 長／並木俊雄
副 会 長／渡邊 昭
副 会 長／前野 長
副 会 長／吉田嘉明
専務理事／生田博康
理 事／増田進致
理 事／山内恒徳
理 事／大貫泰男
理 事／由井 孝
理 事／安藤善夫
理 事／福田弘一
理 事／内山文博
理 事／安藤武雄
理 事／天野 好
理 事／渡邊豊治
理 事／森 正幸
理 事／山瀬 勇
監 事／清水秀忠
監 事／高松 保
監 事／遠藤義人

〈参事〉

春原 肇(千代田区) 大竹康輝(新宿区)
大山秀元(麹 町) 酒井雄学(渋谷区)
並木俊雄(丸の内) 河野 裕(中野区)
小川康吉(日本橋) 大亀 廉(杉並区)
武石醇作(京 橋) 龍 鼎一(品 川)
林 正三(港区芝) 柿崎利雄(荏 原)
関根正行(麻布赤坂) 大友 好(目黒区)
山崎勝弘(文京区) 瀬川克巳(大 森)
坂井和雄(小石川) 佐野良治(蒲 田)
穴倉浩介(台東区) 山根通裕(世田谷区)
磯部 茂(浅 草) 伊藤 直(玉 川)
武井宏之(本 所) 成田清彦(豊島区)
大西巖治(向 島) 武石信治(滝野川)
荻原智紀(足立区) 塚越武利(北)
白川 尚(深 川) 櫻井善忠(荒川区)
杉山 勉(城 東) 倉田幸男(板橋区)
加藤勝成(葛飾区) 山本一郎(練馬区)
子安健一(江戸川区) 鈴木茂孝(西多摩)
渡辺吉明(牛 込) 三輪一郎(八 南)
竹内 守(四 谷) 斎藤重二(町田市)
手塚裕文(武蔵野市)
加藤千織(府中市)
森田栄一(国立市)
山口良雄(三鷹市)
金田和幸(小金井)
野口勝正(国分寺市)
鶴巻克雄(東久留米市)
森谷健之(立川市)
福井弥太郎(小平市)
高橋誠一(東村山市)
山口正男(保谷市)
服部玄門(田無市)
土方靖夫(武蔵村山市)
初道守久(昭島市)
入澤幸男(調布市)
小幡哲夫(清瀬市)
内野新平(東大和市)
押尾克己(狛江市)



近頃一極集中を排除するため、行政府のみを他県に、と盛んに審議、叫ばれているが、そのメドは立たず、年々ふくれ上がっていく一方の東京。日本の首都というよりは世界経済の中心地であり、従って住民も世界中から集まり、人種のるつぼ化しつつある感さえする。

この複雑な大都市の中で日々歯科医療に従事する歯科医師会のリーダーが、ご紹介の並木会長。第1代高山紀斎氏から数えて丁度30代目である。さすがは都民1,200万人、歯科医師約8,300人の頂点に立たれている方だけあって、洗練された風貌と丁寧なお話振りは、これぞ紳士と思わせる。

その会長とコンビを組み、実行の指揮を取られているのが生田専務理事。今回はこのお2人に新歯科医師会館3階にある会長室で、都歯科医師会の現状、活躍、問題点等を語って頂いた。

Q：これだけの大都市をまとめていかれるのは大変なことでしょうね。



会
長／並木俊雄

会長：大変であるといえば体がいくつあっても足りないぐらいですが(笑)。地区の会長さんが、夫々会員を掌握し、本会の理事者がしっかりと会務を執行してくれているので、私はその上に乗っけているだけです。ただ、23特別区と27市(町村)が事実上二元行政になっているので、多少やりにくい面があります。

Q：単純に割っても各区50万人強の人口ですから、当然かも知れませぬね。

会長：会が現在市部を含めて58ありまして、会員は約8,300名、非会員は600~700名くらいだと思います。この割合数は(非会員)全国一だと思いますよ。入会に対しての規制は特種の例外を除いて別ありませんが、原因の第一はやはり金銭的なことではないでしょうか。それと地方と

違って開業しても将来もこのまま続けて行かれるだろうかと言う危惧感ですね。テナント料にしても新規ビルでは坪8万円以上するんですから…。そうした迷いから、まだ入会は、と決めかねているのではないかと思います。

専務理事／生田博康



生田：しかし医師ですから、そうした例外を除いて、やはり地域医療に奉仕する公衆衛生活動や休日救急診療、寝たきり老人訪問診療等に加わり活動する姿勢が大切なのではないでしょうか。また、会に対しての認識不足、活用すれば多くのメリットもあるわけですから…。今そうした方々のために「入会のおすすめ」など、方法、PRを進めていきたいと考えています。

Q：歯科医師過剰問題につきましては？

会長：一口に都内といいますが、私のいる丸の内を含めた都心部は患者さんは溢れているんですが、郊外では過密になっています。又衛生士等のスタッフも都心部はほとんど問題がないようですが、ちょっと郊外に入ると全く集まらないという現状で…。難しいですね。経営の目安として勤務医1人の1ヶ月の収入と家賃が同額程度ならばやって行けると言われております。大まかな目安、開業場所によって多少の違いはありますが…。

生田：衛生士が不足していることから、当会では結婚やその他の事情で現在職場を離れている有資格者に、「未就業歯科衛生士雇用促進協議会」という都からの委託事業があり、衛生士の再雇用を計る活動を進めております。都下の実情は意外と思われるかも知れませんが、一院当たり全国平均では0.8人なのに都はその半分の0.4人しかおりません。今の若い方達は自分の自由時間を多く持てることが一番の条件ですから、そのような認識にた

って、雇用条件の工夫を計ることも大切かと思います。

会長：過剰・保険問題等をかかえ一概に言えないかも知れませんが、この大都会ゆえ、中には信じられない程の高額を取りながら、スタッフは冷遇したり、又自身の借金返済だけを考え、夜遅くまでスタッフを使う場合も少なくありません。昔と違って…。我々歯科医師側にも反省すべき点も多いのも確かだと思います。

Q：ご活躍状況につきましては？

生田：昭和22年に制定された災害救助法に基づいて、近年起こるであろうと言われる大地震、それにとまなう火災等、東京都に協力する体制を作っておりますが、東京都あつての東京都歯科医師会という大局的見地に立った会務運営を、と考えております。

会長：現在8020運動を歯科界が提唱しておりますが、その一環として、東京都が音頭をとり、歯の健康づくり都民会議が発足。只今ネーミングを都民から募集中です。

卒後研修制度は昭和49年に発足させ、現在第4次に入っております。これは都内5大学の全面的バックアップをいただ

いて、毎年900名の会員が受講しておりますが、年々進歩する医療に追いついていくための勉強は好評のようです。その他次頁にご紹介するような心身障害者口腔センターや歯科衛生士専門学校などの活躍状況がありますが、私が当会の会長として感じますことは…。通常、会長を退いても会の方針に色々口をはさむことが他では多いと聞きますが、当会では総てをまかせて、自由に活動させてくれます。その点が一番有り難いですね。

会長としての私の今の心境は、とお見せ頂いた雑誌の1コマに…。「会員を愚かなものとなめて考えてはいけない。上りつめたら、下がるほかない。さらに上り続けたり、水平を保ち続けるには、かつてなかった程の自己規制や努力を必要とする。どういう組織でも、執行部になる、ということは、人々のために自ら死ぬ準備があると言えること…と考えています」とある。自身への戒めを素直に述べ表したものであろうが、その心意気は読む人の心を強く打つ。



東京都立心身障害者 口腔保健センター

東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ 8F、9F
電話 03-(3235)-1141

副所長 篠田 登
診療部長 大竹邦明

国電・飯田橋駅前、20階建のセントラルプラザの8・9階にある都立心身障害者口腔保健センター。

当センターは公設民営で管理全般は都歯科医師会に属するため、所長は並木会長であるが、日々診察に携っておられる責任者は、お2人の先生。略歴を簡単にご紹介すると…。

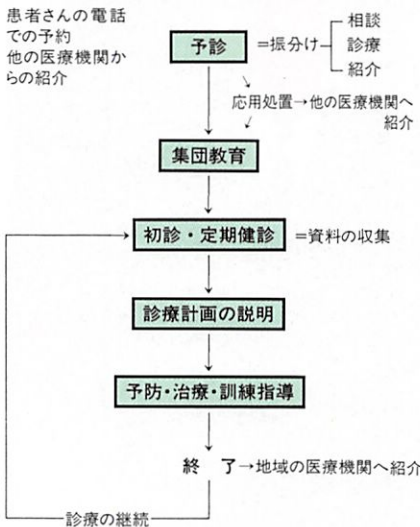


副所長の篠田先生は昭和36年東京歯科大学を卒業、その後新設成った東北歯科大に赴任、教鞭をとった後母校にもどり教授を務められ、昨年5月に当所に就任。ご専門の歯周学を活かし、主に老年期の患者さんを。

大竹診療部長は日本大学歯学部小児科を昭和41年に卒業後母校で研究、研修を積み、59年に当センターに赴任。主に発育期にある患者さんを治療しておられる。お2人共豊富な経験を活かし、当センターの両輪となってご活躍のご様子である。

当センターは開設まもない8年前にも当誌

図. 当センターの診療の体系



でご紹介したが、その後諸先生方もご存知のように国際的に広がったこうした心身にハンディキャップを持った人に対する福祉活動は、近年新規開業される医院の諸設備、スタッフの教育にも表われ、地道ではあるが国民の歯科医師に対するコンセンサスの輪を広げ、喜ばしい結果を生みつつある。

全国に先がけ開設された当センターは、その後内容を更に充実させ、単に心身障害者の歯の治療にとどまらず、チームを組んで身体全体の機能回復、社会復帰にまで、その活動は拡大されている。歯科医師の使命が全身の管理へと大きく躍進することへの道を此処で見た思いがするし、読者の先生方にも今後の歯科医師の進むべき方向を示唆しているように思えた。

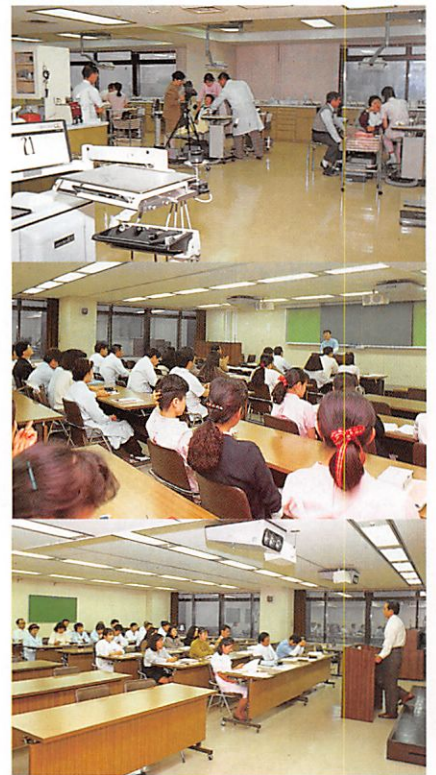
その基本的考え方を発行の新聞から抜粋してみると…。「人は誰れも大小に拘らず障害を持っている。それが目に見えない程軽いが、



又健全な部分で覆い隠しえるかどうかであり、障害者と呼ばれる人達は、それが単に外見的に表われ、社会を含めた日常生活がスムーズに行かない

ことだけである」と。医療の原点、こうした角度から人間その他総ての生き物を見た記述は少なかったのではないだろうか。続いて、「そのような点から、心身障害者歯科の医療を見てみますと①全ての人を対象とした歯科医療の目標とはなにか②その目標を達成する際に問題となる障害とはなにか③その目標を効果的に達成するための診療体系はどのようにすればよいか」。その体系システムを可能な限り造り上げたのが当センターである。その概略体系は図に示されているが、集団教育から始まり、終了の訓練指導までいく為には、歯科医師(10名)や衛生士(23名)、技工士はむろんのこと、栄養士、看護婦、保母、保健婦、養護教諭、言語治療士、更には、理学治療士までの陣容を配し、その治療は徹底を極めている。

その過程の一つである口腔保健指導においてもその基本は「鏡の前で一定時間椅子に座って、歯の清掃をすることは、静止した状態を維持する忍耐力を養うことにあります。それは多動をコントロールすることにもつなが



ります。—中略—これらのことが日常生活においてのボタンかけやスプーン、箸の使用を促すことになるように考えて口腔保健指導を行っています。これらのことによって、歯科治療もスムーズに行えるようになり、治療椅子に座れるようになることは、床やさんにも行くことが出来るようになることで、社会生活への参加に通じていくと考えています。こうした考え方は、開業医であられる読者の先生方が人数を揃え、総てを実践することは難しいが、来院される小児、障害を持ち今後増えていくことであろう高齢者の歯科治療の診療姿勢、スタッフ教育の一環にもなるのではないだろうか、という気がする。

又、当診療所では、歯科医師の為の個別、集団研修を設けているようなので、将来にそなえ、と思われる先生は左記の電話番号にお問い合わせの上日程をご確認下さい。

誌面の都合で詳しくはお知らせ出来ませんが、最後に、頂いた診療部長を務める大竹先生の著書「ハンディキャップをもつ人の口の健康」の冒頭の言葉に「息苦しいほどの過保護でない愛情を、甘やかしすぎない程度のいたわりを、それが1人の人間として生きてゆくための力を得ることになる」をご紹介します。

障害者に限らず、親が子を育てるための名言でもあろう。

東京都歯科医師会附属 歯科衛生士専門学校

東京都千代田区神田多町2-11

東京・神田は、中小のオフィスや商店、飲食店、学校など各業種が小路を挟んでピシリ建つ、都の中心地にありながら、いまだに下町色の濃いなつかしい街である。が近年都の再開発地域指定区ということで、日歯会提唱の8020運動とは反対に歯が抜けたようにあちこちに空地が目立つようになった。変貌するのも間近であろう。

並木会長が校長を兼務される都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校は駅から6～7分、絶好の地のりの角地に5階建のビルを擁し建っている。昭和49年開校、以来毎年50名の卒業生を歯科医療界に送り出しているといわれるから、既に900名近い衛生士さんが各地で活躍されていることになる。

当校で長年そうした衛生士さんの実状をみつめ、又相談を受けてこられた事務主任の高島欣也さんに現代女性気質と就職する歯科医

院への要望等を語ってもらった。

「当校の卒業生は1割にもみたくないのですが、聞くところによりますと、せっかく国家試験を通り、資格を得ながら他の職種に就職する方がかなりいるようです。その原因をさぐってみますと、現代の若い女性は、男性もそうですが、良否は別にして自分の時間が持てない職場は敬遠するようですね。世は週休2日制が叫ばれ、労働時間を短縮する、という方向に向っておりますが、当業界はそれぞれの事情はあるでしょうし、ご意見もあるでしょうが、現代女性気質だけを指摘すれば時間的拘束が多すぎる。それが一番の要因のようです。加えて厚生学生などの不充実や若い先生方は衛生士を加えたシステム教育を受けて来られたので少ないようですが、いまだに単なる助手として雇用される医院も少なくないようです。先述のように事情は種々あるでしょうが、そうしたことを改善し—例えば2人女性がいれば交代制にするとか、衛生士本来の役目を独立させ、システムを作り、やる気を促すことなど、若い人、現代社会に合った医院づくりを目指すことが、この人手不足時代には必要なのではないかと思います」。時代は大きく変わっている。一時代前に言われたフォーハンド、シックスハンドシステムは夢物語になってしまうのではないかと思います。そのような厳しいお話である。

東京都歯科 健康保険組合

東京都豊島区北大塚2-11-11

JR大塚駅より徒歩3～4分の中小ビルが林立するオフィス街に昭和30年に設立された、我が国初の歯科医師のための健保組合がある。設立時は未だ戦後の混乱がやっと終わったかどうか、という時期で、政府も国民健康保険制度の導入には手が回らなかった時代。——ちなみに国民皆保険が実現されたのは昭和36年、厚生省医務局に歯科衛生課が復活されたのは翌々年昭和38年のことである——。そうした国保設立以前に作られたという経緯をたどったため、全国で唯一の歯科医師の健保組合であり、理事長は並木会長だが常務理事、事務局長は厚生省OBの方々である。

特長は①被保険者本人が傷病のため休業し診療収入がない時は標準報酬日額の6割、最高2年で1千万円余りを支給。②病院などでの受診は、本人、家族が入院の場合10割給付。③その他主な給付は埋葬料本人は168,000円～142万円(標準報酬月額2ヶ月分)、家族11万円、更に出産手当(産前、産後)、分娩費育児手当等が支給される。又、国保にはない事業として、人間ドッグ補助金、成人病検査に対する補助金等が支給されると共に、各保養所やレクリエーション補助など、多方面に会員の福利厚生をはかっているとのことである。





ふじもと歯科医院

広島県安芸郡坂町北新地12020-3

院長 藤本明秀





市街から眼下に海や広大なマツダの工場群を見ながら、快適に走る海田大橋と呼ばれるベイブリッジを渡ると対面の湾岸埋め立て地にたった15分で着く。行政方針に沿って計画的に区画された土地だけあって、十分な敷地を有する物流センターや工場、又そこで働く人々のしゃれたマンションが建ち並んでいる。

ご紹介の「ふじもと歯科医院」はその一角、銀色に輝く真新しい5階建のテナントビルの2階にある。前面はデパートの物流センター、隣接地は空き地であるが、近日大規模なショッピングセンターの建設予定地とか。発展途上地ゆえ街の印象はしっとりとした落ち着きを、とはいかないが、その分明るく活気に満ちている印象。

ふじもと歯科医院の外観も、こうした街にふさわしく、医院というよりも一見若者好みの喫茶店かグッズショップを思わせる現代的な色彩を採用。写真でもおわかりのように、各所に苦痛な患者さんに少しでもリラックスしてもらおうという、ちょっとした工夫、心使いが感じられる。従来の歯科医院のイメージを払拭した開放的で若々しい雰囲気医院である。

玄関入口は素通しガラスにピンクの枠どり。自動ドアを入ると前面の広い靴脱ぎ場には、一面に人口芝生が。片すみにはゴルフパター練習用の穴が、その横には木造りの緑台が設けられている。もう片方の壁には、巾20cm長さ1m位の小型キャビネット。一見

飾り棚だが中は半回転式のスリッパ入れになっている。とかく待合室は患者さんの脱いだスリッパが飛び散り、雑然とした感じになりがちだが、こうすればスッキリとし清潔なイメージとなる。上り框(かまち)は段式と車椅子用スロープの2通りを設置。床は斜めに切った木目が診療室に向かって流れている。

入口ドアから待合室までが芝生の緑と木目の茶が一体の空間となって、広々とやすらぐ演出。患者さんの身になって考えられた見事なインテリアである。

診療室入口は木目の横枠が入った大きな3枚引き戸。室内は中央にL字形の手洗いキャビネット。L字状の窓に沿って置かれた観葉植物、それに沿って濃淡グレーのツートンのスマイリー<ファインL型>が4台。配管のため床が一段高くなっているにもかかわらず、細々とした仕切りがないため、視線が全体に広がり、明るく開放的なイメージで気持ち良い。ひと目でこの設計者は患者中心のしかもかなり熟知された人によるものであろうと想像される。

院長は広島大学歯学部を昭和61年に卒業。卒後は第2口腔外科教室に約3年。その後市内と呉市で1年半程勤務医生活を送り、一昨年12月に開業。今年31才の青年医師であるが、お話し振りに応対も落ち着いていて、すでに中堅の医師を思わせる。4名おられる女性の方々の応対も明るく丁寧。良き指導者に恵まれている感じで、歯を病む方々には救いであらう。

Q：素晴らしい内装ですね。どなたが？

院長：私は建築や設計には弱いのですが、義父がこの近くで、木材商を長年やっております関係で顔も広く、各方面の専門家に頼んでくませて…。私自身出来上ってみて立派さに驚いているんですよ(笑)。身内ですので手抜きもなく、隅々まで考えてくませて感謝しております。

Q：では全く不満はない？

院長：今のところありません。しかし長年使ってみて、いずれは改装するでしょうからその時までには患者層などに合わせ気がついたところはチェックし、備えたいと思っております。

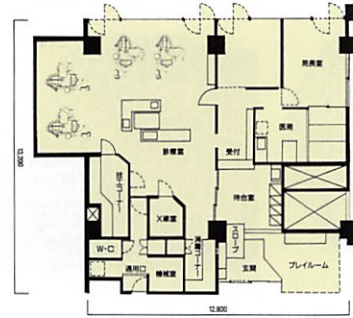
Q：1日の平均患者数、又患者層は？

院長：およそ20名前後です。患者層はこの付近に勤められているサラリーマンの方やマンションの住人です。

Q：開院時間は？

院長：途中1時間半の休みをはさんで9時から6時迄です。夕方勤めが終ってから来院される方をという考え方もありますが、それですとほとんどその時間帯に集中してしまいますから、治療内容も中途半端になって、かえってマイナスなのは、と思いましたので。又、スタッフも遅くなりますと疲労が増し、ひいては患者さんにも不快な気持ちを与えるのではないかと…。

Q：まだまだ発展途上にある地域と見うけられますが。



院長：ええ。近い将来銀行やスーパー、又新駅が出来るとのことで、これからがたのしみな街です。

Q：保険と一般、どの位の割合ですか？

院長：保険が90%、一般は10%位です。都会地と違って一般は少ないですが、私の方針はあくまで患者さん主体。相手の要求を満足させるべきで、選択は患者さんにまかせております。

Q：インプラントなどは？

院長：材料、施術法など色々なところでいろいろ勉強しておりますが、私自身疑問点が多く、将来的には良い方法とは思っておりますが、その時期にまだ来ていないと思っておりますので、当院ではやっております。

Q：初代ということですが、歯科医師になられた動機は？

院長：もともと技術職は好きだったので、この職業について不満はないのですが、本当にこれで良いのか、と云われると困りますね(笑)。今はこの職業を一生懸命やってみようつもりですが、将来もっと自分に合ったものが見つかればその時は…。やはり人間色々な夢をもって生きることが大切なのではないでしょうか。開業も初めは考えておりませんでしたし…。自分は大学に残って研修生活を、と思っておりましたが、色々な都合で…(笑)。これも人生の流れですね(笑)。

Q：開業1年、今のご心境は？

院長：開業1年目では基盤を。2年目で医院のシステムづくりや専門の勉強を深め、3年目には完成をと思っておりましたが、アツという間に1年過ぎてしまいました。夢と現実、ジレンマがあります(笑)。

Q：将来は？

院長：高齢化社会を迎えて往診を採り入れたりと、歯周疾患の指導や教育など、ドクターと衛生士が連携しながらやって地域に根づいた歯科医院のシステムを作りたいと思っております。現在TBIなどはシステムも出来つつありスタッフも良くやってくれておりますので不満はないのですが、往診などは代診の先生、出来たら使命感を持ったレベルの高いドク

ターが2～3人来てくれれば、ここと両立しながら進めて行くことが出来ます。先に云いましたように夢と現実がなかなか一致しませんが、近い将来は、と思っております。

Q：スマイリー<ファイン>、ご使用感は？

院長：今までオサダの製品は使った記憶はないのですが、前評判どおり故障は少ないですし、使いやすいユニットですね。エナック、アビット等も同時に購入しましたが良いと思います。少々高かったのですが、やはり長い目でみれば故障が少なく、アフターもしっかりしている企業、製品が良いと思います。気に入っております。





本田歯科医院

新潟県佐渡郡真野町新町444

院長 本田 亘





新潟港からジェットfoilと呼ばれる高速艇でキッチリ1時間で両津港に着く。そこから左右にそびえる山岳の谷間にあたる内陸部を車でおよそ30分。日本海に面した真野(まの)湾の入江の町にご紹介の本田歯科医院がある。国道350号線に沿った商店街に建っているが、夏場のシーズンを過ぎた真冬の今は行き交う車以外は音も聞こえず静かだ。

白い3階建の建物の1階が診療所。正面駐車場脇から4〜5段上って玄関へ。海に囲まれた島とはいえ、冬の寒さは相当厳しく、1坪近い風防室が設けられている。簀の子状の靴脱ぎ場から待合室へ。暖かそうなグレーのじゅうたん、待合用椅子はベンチ式の4〜5人掛けが一脚しか置かれていないしスリッパもない。これはおそらく、後で院長のお話しにも出て来るが、多人数の患者さんが、畳と同じ感覚で床に座れることを配慮したものに違いない。空間が広々として気持ちいい。

ドアを開けて診療室へ。そこで患者さんはスリッパを履き治療台へと向う。床はマス形模様の本目。窓に沿って濃淡グレーのツートンカラーのスマイリー<ファインL型>が4台並ぶ。ユニット前面の置棚には口腔内検診用の大型ビデオテレビが1台、持運び自由な小型テレビが3台置かれている。お話しによると、いま各ユニットの无影灯の柱に設置出来るテレビ置き台を作成中とのこと。患者が自身の口腔内の状態を理解することによって、より積極的に治療に専念してもらおうという医院の姿勢がわかるようだ。

ユニット後面が手洗いキャビネット。その

背面が自動滅菌器などが置かれた消毒コーナー。

30年前に作られた診療室ですから、と言われるが古さは全く感じられないのみか、ホッとする暖か味さえ伝わって来る。

院長はお父様に続く2代目。昭和47年に日本歯科大学を卒業。その後同大の付属病院、更に地元新潟歯学部で計3年の研修を積んだ後再び上京。東京・牛込で勤務医を6年経験、57年に故郷であるここ佐渡に戻りお父様と共に診療生活へ。ちなみにご兄弟4人とも…、ご次男の方は東京で技工所を、三男の方は同じく豊島区で開業医を、ご長女は東京の歯科医に嫁ぐとともに、院長の奥様も日歯大卒と言われる、歯科医療界に携わるご一家である。

明るく童顔な印象の院長と共にスタッフの方々も笑顔が可愛い美女揃い。診療室の暖かさと相まって…。患者さんには有り難い診療所であろう。

到着時間が早く院長が診療中とのこと、その間お父様から本田歯科医院の歴史、歩まれた道をお聞きする。

Q：お父様が開業されたのはいつ頃？ その当時の佐渡はいかがでしたでしょうか？

お父様：開業は終戦の翌年。当時佐渡の人口は10万人位でしたが、焼け出された人達が親類縁者を、又復員された方々が帰って来たりして、いち時は17万人位に人口が増えましてね。でも最近ではほとんど若者が外に出て行きますので当時の半分位

になっているのではないのでしょうか。患者数は開業当時はあまり多くありませんでしたが、30年代に入って急に多くなり…。朝は暗い内から並び始め、1日中目が回る程の忙がしさとなりました。

Q：日歯大を卒業後、軍医学校の衛生部等、東京方面での生活が長かったようですが、佐渡での生活はいかがですか？

お父様：冬は厳しいが、静かでゆったり、ドロボーもいないし、良いところですよ(笑)。3〜4年前に長男に総て譲り、今は小遣いをもらってのんびりと生活をたのしませてもらっています(笑)。

Q：院長先生。都会での生活から戻り、親子断絶は？

院長：全くありませんでした。親が素直に私の意見を聞きましたから(笑)。

お父様：いやいや(笑)。断絶がなかったのは2人共とにかく患者中心に考えていこうと…。相手がどんな治療を誰にしてもらいたいのか。当たり前ですが、それを2人共よく知っていたからですよ。

Q：スタッフと患者数は？

院長：医師2名、衛生士2名、助手・受付3名です。技工は島内(専属の技工所)2箇所と弟のところ。患者数は1日平均100人前後位ですか。でも勤務医時代も下町でしたから患者数は多かったの、あまり違和感はありませんでした。

Q：多いですね。歯科医院は少ないのですか？

院長：この真野町は人口約6000人で2軒。佐



渡全体では人口約8万人に対して23軒かな。人口対比では恵まれています。が、たとえ患者数が多くても勤務医がおりません。といいますのは離島ですので雇った場合、住居費も含めて総ての面倒をみるとなりますと出費がかさみ、とてもやっつけはけません。まだ44才ですから体力もあります(笑)、このままの状態でしたら将来は縮小、と考えてしまいます。

Q：患者層は？

院長：お年寄りが多いですね。それと近くに工場が出来ましたので、そこで働く方達。ただ3交代制で働いているようなので、その方達に合わせることも大切で、夜も結構遅くなります。又雨が降ると農・漁業が出来ませんのでドーという感じで来院されます(笑)。

Q：では完全予約制は無理ですね。

院長：ええ、とにかく痛い人をほっておくことは出来ませんし、老人は一刻も早く入れ歯を入れて欲しいわけですから、我々サイドから都合の良いと思われる予約制は、都会地ならいざ知らず地方では出来ませんね。

Q：お悩みは？

院長：先の代診問題や保険等いろいろありますが、それ以外では…。離島ですので大きな手術や時間等があれば新潟市方面に送りますが、緊急を要する場合は大変ですね。そういった意味で、今の歯科教育制度は専門化され過ぎて、自身の出来る

範囲が限られてしまっていますから…。それを考えますとこうしたところでの開業は一面怖いですね。又、インプラントなどの時間を必要とする治療は、たとえば本人は身につけていても、手術時間がなく…。そういったことが悩みですね。

Q：診療室につきましては？

院長：とにかく父が30年前に建てたものだから(笑)。でも広々として使いやすいで

すよ。ユニット間の間仕切りは、この辺は患者さんが皆、顔見知りで友達みたいなものですから待合室でも治療台でも自由に話せるよう総てなくしました。

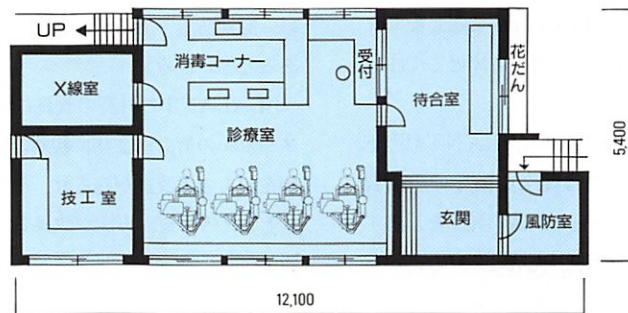
Q：将来は？

院長：やはり治療するより予防を。その点スタッフの女性が一生涯懸命張ってくれて…。彼女達も言われたことだけをやるより、自分で何かを見つけてやる方が生きがいがある筈ですから…。自主的によくやってくれますから、将来もこうした形でやっていき度いと思っています。

Q：オサダのスマイリー<ファイン>いかがですか？

お父様：私は以前は他社製品でしたが…。とにかく息子は帰って来た途端、ユニットはオサダだオサダだ！と(笑)。でも故障は各段に少ないですね。同じ機械なのに不思議ですねー(笑)。

院長：雑誌等でもオサダの良さは知っておりましてし、形もスッキリコンパクトで、日本人の体格に合っているんじゃないですか。弟の所も女房の実家もユニットはオサダですよ。友人・知人に勧めても全く心配ありません。



最近の医事紛争の傾向とその留意点



大阪府歯科医師会
常務理事 新海研志

略歴

昭和30年 大阪歯科大学卒業 日生病院歯科勤務
 昭和35年 大阪市大淀区天神橋にて夜間開業
 昭和46年 大阪府歯科医師会理事(1期)
 昭和47年 大阪市西区新町にて開業
 昭和48年 大淀区支部長(8期)
 昭和50年 大阪府歯科医師会理事(2期)
 昭和54年 大阪府歯科医師会代議員(1期)
 昭和56年 大阪府歯科医師会常務理事(2期)
 日本歯科医師会学術委員
 昭和58年 日本歯科医師会倫理委員
 昭和60年 日本歯科医師会代議員(1期)
 大阪府歯科医師会代議員(2期)
 昭和63年 日本歯科医師会医療関係法規調査研究
 部会委員(2期)
 平成元年 大阪府歯科医師会常務理事(2期目)
 日本歯科医師会医療倫理委員
 日本歯科医師会民間歯科保険検討臨時
 委員会委員

歯学博士
朝日大学歯学部非常勤講師

昭和50年に大阪府歯科医師会理事として、医事法制を担当すると共に、昭和49年から大阪を中心として全国的に拡がった「歯の110番」を筆頭に色々なトラブルを解決する機関である、紛争処理の室長も兼務致す事になりました。私は、紛争処理では言葉が悪いという事で「歯科医事処理室」という名称に変更し、今では日歯を始め各都道府県で「医事処理」という言葉が定着して参りました。その後15年以上、処理に当たってきましたが、全国の歯科医師の方々のお役に立てればと思います、昭和62年に「医事紛争処理現場からの警鐘」なる著書を発刊致しましたが、爾後も色々な相談、事故、トラブルが発生しており、最近の傾向もおりこんで述べさせて頂き、明日からの診療面における不安を少しでも解消して頂ければ誠に喜ばしく思います。

- ①医師賠償責任保険に必ず加入して下さい。
この保険はあくまでも自己を守る保険ですので、患者に対して決して加入している事は口外せぬ様、お願い致します。
又、2ヶ所診療の場合は、必ず一診療所単位で入る事が肝要です。
- ②何故か若いご婦人の顔にFC等の薬品がつき、仲々火傷症状がとれないケースが多発しています。これは座位診療で術者と介補者の間に患者が寝ており、その顔の上で薬瓶のふたとったりするためか、或はFCをしぼった綿花が誤って口角部についたりするためと思われます。
- ③インレー、冠等の装着後のセメントを歯科衛生士、又は歯科助手にとらす医院が多い様でその際、スケーラーやエキスプローラーの先がすべて患者の顔を傷つけ、高額な補償金で解決したが、②③何れの場合も、

傷又は火傷を与えたら、直ちにポラロイド写真を取り、数ヶ月後の写真と比較する。補償の重要な基準となるため、忘れずに写真をとっておく事が肝要です。

- ④上記③にふれた様に、歯科衛生士、歯科助手の業務範囲については、平成2年の日本歯科医師会雑誌11月号に「歯科医師と法律Q&A」改訂版に特集として詳しく掲載されているので、充分お読み頂きたい。
- ⑤過剰と思われる咬合調整は、決して行なわぬ様、ご注意申しあげたい。
歯周病治療の一環としてスケーリング、P Curと共に咬合調整を行なうケースがありますが、度をこした場合に強度の「むちうち症」症状を起こした例があり、私の平成2年大阪府歯科医師会雑誌9月号の巻頭言、「喜怒哀楽」を最後に掲載致しましたので、ご参考に供して頂きたい。
- ⑥カルテは正確に記入して頂きたい。
申すまでもない事だが、貼薬した薬品名又は投薬薬品名、容量等、又、一部負担金をその都度、記入されていないため、思わぬトラブルにまきこまれるケースが発生しています。
- ⑦レントゲン撮影は、診療の根拠として必要な事は云うをまたないが、保険点数をあげるためでなく、且つ現像ムラ等で、診断不能の場合は再撮影して、病因を適確に見極めて頂きたい。女子中学生の「線維肉腫」「エナメル上皮腫」を見過ごしたため、その対応に苦慮されている現実をみて、あえてご注意を促す次第です。
- ⑧1時間以上かかっても抜けない抜歯は、一旦中止して2・3週間後に抜歯する事をおすすめする。長時間に亘る無理な抜歯は必

喜怒哀楽

人間の感情として、「喜怒哀楽」の四文字は多かれ少なかれ、持合わせているものだが、私の取り扱う医事紛争には、「喜・楽」が殆どついて廻らない。問題を提起して来られる患者の「怒・哀」は、ここ15年程、色々、面会・手紙・電話等で耳にタコが出来程、聞かされてきた。少しでもこの「怒・哀」を「喜・楽」に変えるべく努力はしてみるものの、仲々そう簡単には参らない。併しトラブルの中には、私に言わせれば3段階あり、その①は1・2回の説明で納得し、自らの思い過ごしや、計算上のミス等を素直に認めて解決するもの、その②は担当医・患者間のトラブルの接点を見つけ、金銭的解決又は再補綴といった段階で終わるものであるが、その③は、たやすくは片付かない。調停又は裁判になるもの、所謂、示談屋的第三者の介入するケース。その他、担当医に対するいやがらせ電話、待合室に長時間居すわる患者、診療所前で大声で怒鳴ったり、ドアをける輩、あげくの果ては放火等、一筋縄ではいかない。時には警察官の手を煩わす場合もある。併し、この様な誠に難しいケースでも再三の面会、説明、弁護士への依頼、

他の医療機関への紹介等で何とか收拾出来る事もある。①・②では「楽」とは、いかなくても「喜」は感じて頂けるが、③では仲々「喜」には、つながらないが、中には次の様な事で私自身も「喜」を味わう事が出来たことがある。5年程前だったが、Pの咬合調整のやりすぎで、屈強な男性が食事摂取もままならず悶々の日々を過ごし、大学病院迄通院するも一向によくならず、思い余って面会に来られ、事情を詳細に伺った結果、今や時代のブームとなった「テンプレート」に気がつき、会員の2名の名医に経緯を説明し、無理を言って優先的に診て頂き、やがて私と対面しても、椅子からずり落ちそうな強度の「むちうち症」から解放され、やっと正常な仕事に復帰出来た患者の笑顔が誠に印象的で本当によかったと、しみじみと患者共々「喜」の感情を抱かせて頂いた。「楽」はそういう苦難が過ぎ去ってから、知らず知らずに発生するものではなからうかと思うが、我々お互いに切磋琢磨して診療面、特に患者に対し「怒・哀」を与えない様、日々努力研鑽してみたいものである。

ず、後麻酔や上顎洞穿孔等の後遺症がつきまとうので決して無理をしない様、それが患者から後々、感謝されるものです。

⑨1万円以上の自費患者に対しては、特に責任をもって補綴修復を行ない、十分な説明をした上で、患者の諒解を得てから着手する。又みだりに専門用語を使用せず、例えば「メタルボンド」と云っても患者は他の患者の手前、分ったふりをしているものの、現実にはどんな材料で幾らかかるのか、全く分っておらず、セットの段階又は費用請求の際に一悶着ある様です。又説明は歯科医師自ら行くべきと思います。

⑩前医批判は絶対にしない様をお願いしたい。又自分の専門外の事は、いくら高額な収入が見込まれても絶対にやらない事が「医の倫理」である事を忘れず、他の専門の先生に紹介される事をおすすめします。

⑪誤飲事故は頻発するが、若し誤飲させたならば、必ず付き添って、どんなものを吞ませたのかを医師に説明し、気管以外なら数日後に排便されるので、追跡調査を依頼される事が必要です。ただファイルは胃におちても1ヶ月近く出ないので、特にご注意頂きたい。

⑫その他、誤抜歯、後麻酔、気腫等発生していますが、歯科医師の不注意から起こるものと考えられるが、最近では「心身症」?と思われる患者に屢々遭遇する。

到底個人診療所では対応し得ないと思われるので、応急処置にとどめ、神経科等のある総合病院に転医をすすめるべきと考えます。以上の他、裁判事例等は紙面の都合で割愛致したい。

締めくくりとして医事紛争を起こさぬために

1. 患者の身になって考える。
 2. 主訴をよくきき、痛み悩みを取り除く。
 3. 全身的症状、特にアレルギー体質の有無を確認する。
 4. 保険診療を希望している患者には、あえて自費診療をすすめない。
 5. 治療方針及び補綴修復に関しては充分、専門用語を使わず説明する。
- 又、2名以上の先生がおられる医院では、終末処置が違わない様に注意する。例えばインレーを装着する約束があったのに

FCKが装着され訴えられたケースもある。

6. 決して前医を批判しない。
7. 日頃から近所の医師との協調を心がけ万一の場合の応急処置をお願い出来る様な配慮が必要です。
8. 放射線被曝及び妊産婦の投薬には特にご注意願いたい。

以上、要点のみにとどめたが歯科医師として「インフォームド・コンセント」(説明と同意)を重要視されて日々の診療に研鑽されます事を希望致します。

Z O O M 7 C L O S E - U P



平沼謙二先生

の巻

愛知学院大学歯学部長

愛知学院大学歯学部長室。壁には歴代の学部長の顔写真が。ご紹介の平沼歯学部長は平成2年4月ご就任、数えて5代目である。

高度歯科医療が叫ばれ、それに伴い各分野が細分化され、更に加えてライム病等に代表される新細菌が表れるという、医療界に身を置く者にとってはまさにエンドレス。増々複雑で難しい時代を迎えている。こうした実状の中で医療教育に携わる大学指導者は将来の歯科医師の在り方を如何に考え、その方向性を見い出そうとしておられるのか？

「昨年7月文部省は大学設置基準の改正を行ない大学改革案が出されました。本年度より実施ですが、遅くとも来年度からは大学独自のカリキュラムを設定し、新しい教育体系がはじまるということです。当大学においても、ご存知のように高齢化社会の到来、それに付随する障害者の問題や咬合を中心に、顎口腔系全体の、基礎から臨床への体系を現在の6年という年月の中でいかに組み込み教育していくか。学問が増えたからといって、従来からある基礎的学問としての教養過程をなくしてしまうわけには行きません。2年、4年と今まで決められていた期間をなくし、6年という全期間の中で、他の隣接医学と共に学ぶカリキュラム設定や現在別個に教育されている各分野を、一つの流れの中で系統だてて教える方法、教育として大講座制的な運用等、現在当大学においても模索中です」。穏やかに誠実なお話ぶりが印象的だ。

お生まれは東京・江東区。サラリーマンだったお父様の勧めで、お兄様は医科、先生は歯科の道にと進まれた。東京医科歯科大学を卒業後専攻生として同大に残り、昭和38年、当大学の第1回生が専門課程に入った年に教授として赴任。ちなみに現医科歯科大の小椋歯学部長は小学校時代のたしか2年後輩にあられるとか。学校名は聞き忘れたが、名門歯科大学の学部長を2人輩出すとはめずら

しい小学校である。ご開業は考えられませんでしたか？の質問に「親父がもし開業医でしたら、たぶん戻ったでしょうが、まあとにかく勉強を、とっていましたら、だんだん面白くなりましてね。いつの間にか、というのが実感ですね（笑）。与えられた場をそれなりに一生懸命やって来たと思いますから、歩んだ人生に悔いはありませんね」とキッパリ。現在の国家試験の在り方について——例えば悪いかな、と首をかしげた後「例えば車の運転もペーパーテストが通ったからといってすぐ運転は出来ません。それと同じでペーパーテスト（国家試験）で資格を得たからと云ってすぐ臨床に携わることは出来ません。又、学校で模型実習や多少の臨床実習をやったか



らといっても、車の学校の仮免と同じで、路上運転の経験も積まなければ一人前とはいえません。極端かも知れませんが、やるなら（実技試験も含め）キチッとやり、やらないならば大学で厳しく学問、臨床を身につけさせる一環教育をし、国家試験をなくして卒業生総てに資格を与えるべきでしょう。もし今のままならば総合的なスタッフが揃っている公（私も含め）共的病院で卒業教育をすることが必要ですが、今のところ大学及び一部の総合病院しか学ぶ場がない、と話される。又、こうした現象を作り出すに至った責任は私達にもある、と謙虚な姿勢も忘れない。「各大学とも改革案については努力し、その評価が6年後には表れると思いますが、それには行政や歯科医師会の協力がありませんと実現出来ません。将来の日本の歯科界を背負う優秀

な学生を受け入れる場作りを長期的展望に立って共にして頂きたい」と言われる。

ご専門は補綴学。現在盛んに施されているインプラント。大学におけるその見解は——「大学においては、未だインプラントについては批判的立場を取っていると言わざるを得ません。興味はあります。その危惧するところの第一は、学問的な組み立てがまだまだ充分でないということです」又こうも言われる「補綴物が充分出来ない歯科医師が、単にお金になるとか、これぞ高度で現代的な歯科医療であるとばかりに飛びつく。医療は常に完結的でなければなりません。抜歯が出来ない、義歯が出来ない人がインプラントをやっているのですか。そのチグハグさが怖いんですね。大学でも多少教えることは必要でも、補綴教育の基礎も充分ではないのに、インプラントまで手をのばすことは、あたかも砂の



上に棒を立てビルを築くようなものであると考えるからです。しかしその原因も——「開業医は経営的なものも重視しなければやっていけません。それでつい足元が充分でないのに、上を見てしまう。現在のように保険点数が規定されてしまっている現状では…。難しい問題ですね。」「ただ一時期の歯科医療において、日本は実験場になっている感さえします。それは患者さんにも我々歯科医師にとっても不幸です避けたいことですね」とも。

「真面目にキチッとやれば健全な歯科医院の運営が出来る。そうした保障が必要ですし、それがなければ、いつまでたってもこうした現象は続き、ひいては国民の為に良くないことではないでしょうか。大学教育から地域の開業医まで広く大局的立場で考えられる。期待を担う指導者である。

オサダの商品
〈お元気ですか〉

医療法人 真和会 小林歯科医院

埼玉県熊谷市大字肥塚134

理事長 小林治喜
院長 小林晴行



高崎線熊谷駅から車で7～8分。昭和23年、戦災のため理事長のお父様の実家である当地に、東京・四谷から疎開し開業した頃は見渡す限り畑であった、と云われるが、現在は東京への通勤圏内に組み込まれ、静かな郊外住・商地を形成している。真ん前は上箱田と呼ばれるバスの停留所。これは来院者や通勤するスタッフにとっても好都合な場所であろう。

理事長は丁度14年前の正月号に当誌にご紹介した小林治喜先生。ユニオートご購入時とほぼ一致するが、双方共、厳しい風雪と酷使によく耐えて(？)現在も現役のバリバリ。新しくご購入頂いた他のユニオートに劣らない活躍ぶりである。新しくと云えば、当院も院長は今年41才になられる脂の乗り切ったご息晴行氏が後を継かれ、スタッフ数26名、ユニット7台を駆使し、周辺では評判の素晴らしい医院を運営しておられる。こうした良き後継者に恵まれた理事長は、治療の傍ら、現在は県歯会の理事、国保組合理事、社保審査委員、更には母校日大医学部で法医学の講師を勤めるという、自他共に認める実力派である。振り返っての人生は？「そうですねー、苦しい時もあったし、良き時代もありましたが、その時々で常に全力投球で歩いて来ましたので、人生に悔いはありませんね。息子も厳しく育てましたが、今にして思えば、うまく親父を持ち上げ、こちらが使われた、というところが実感でしょうか(笑)」。うまく行かれた原因は？「基本的には、より良き医療をより多くの患者さんに。医師としては当然の姿勢ですが、2人共それを常に頭に入れて診療して来たこと。第2は私達双方の師匠が同じだったこと。私は東京で開業中の村岡(博)先生から指導を受け、現在息子は先生の愛弟子である小嶋(寿)先生から学んでおりますので、治療上の疑問点はむろんのこと、双方のコミュニケーションが非常にうまく行くのが、大きな要因なのは



ないかと思います。利益の追求ではなく、仕事の追求。診るより治す医療。——その為当院では、新任のドクターには時間を掛けて確実に丁寧な仕事をするよう指導しています。私も当時は1根管に1時間程時間を掛けておりましたが、診療は時間との戦いでもありません。昔からそうですが、ドングリの背くらべ、ではいけない。当院の特色、小林歯科ではこうした治療をしてくれるんだ、という認識を患者さんに知ってもらうことが大切だ、との信念でやって来たつもりです。受付などを除いた女性スタッフは衛生士さんばかりを10名採用。長い方は15年以上も勤務されているとか。その秘訣は？「そうですねー。表向きでは賃金。第2は職場の雰囲気。第3はプロとして彼女達の仕事をキチッと認めること、でしょうね。もっとも私のところの給料は決して高くはないんですよ。ただ彼女達はプロとして、医師と組んで患者さんの歯を守り、良くする為の専門教育を受けて来ているんですから、雇用者側はそれをキチッと自覚、認めることが大切



なのではないかと思います」。

「私は開業以来オサダ以外使ったことがないですよ。会うたびに文句ばかり云いますが(笑)、オサダの社員は人間性がいいですね。それと機械ですからいつかは故障が起きます。その対応をいかに早く、キチッとさせるか。その点を一番買いますし、それが大切なのではないでしょうか」。

院長は城西歯科大学(現明海大学歯学部)の第1回生。親子断絶については？「卒後すぐここに帰って来ましたが、とにかく大先輩ですから、最初はハイハイ(笑)。2年程過ぎ、私も生意気になりまして(笑)。治療上の疑問点を仕事が終わってからよく討論しました。丁度その頃から小島先生にお会いしましてね。そのスタディグループに加わり、今でもそうですか勉強しております。理事長も云ってありますが、目指す方向が一緒というのはいいいですね。患者さんは1日5～6人、1人90分を目安に治療しております。患者さんも大切な仕事を休んで来院されるわけですから、安易な治療で帰すわけには行きませんし、もちろん失敗は絶対許されません。こうした経営、方針は、理事長が長い間かかって蓄積し、信頼を得て来たものですから…。その点は良かったと思っています。本筋が最初から決まっておりましたので、私には抵抗できませんでした(笑)。とにかく毎日毎日が試行錯誤の連続ですが、自分にウソをつかない1日でありたい。良き先輩、良き恩師に恵まれ幸せだと感謝しております」。明るく丁寧、素晴らしい3代目である。



15年前にご購入頂いたユニオート。
「故障も少ないが、起こった場合でもその対応の良さ。そうした人間性を含めた企業姿勢が最も大切だと思っています」



DENTAL
SPACE

いさはい 歯科医院

群馬県高崎市京目町696

院長 砂盃 清
副院長 砂盃 亨子 (旧姓・上野)

**1日中いる診療室なので、
患者さんはむろんのこと
私達も医局員も気持ち良く
いられるところを、
と最初に考えました。**

高崎駅から県道35号線を北東に向っておよそ15分で関越自動車道高崎I・Cに着く。そこを左に折れて約500m。周辺は広い平野部に田畑と新興住宅、工場などが点在。遠景には冬の榛名、赤城の山々がゆったりと連なる穏やかな環境。上州名物“かかあ天下と空ッ風”と言われているが、迎えてくれた女性スタッフ一同も言葉使いはハキハキとしているが、男を尻にひくようなそんな気配は毛頭ない。後で聞くとところによると、上州の女性はそれだけ働き者だという喩えだとか。独身男性の方々、お嫁さんをもらうなら、ぜひ上州の女性を、とPRしておく。

ご紹介の「いさはい歯科医院」はホワイトの外壁に黒い屋根、郊外医院らしく前面から側面に広い駐車場が確保されている。入口は

正面に階段、側面に車椅子用のスロープ状を設置。エクステリアも申し分ない。台形に作られた玄関兼風防室からドアを開けて待合室へ。床は細い木目を斜状に使用。金銭的には高いかも知れないが、こうすると室自体に動きが出て来て、入った印象が軽やかな感じになる。窓に沿ってピンクの待合用椅子が並んでいる。受付はグレー色のオープン方式を採用。

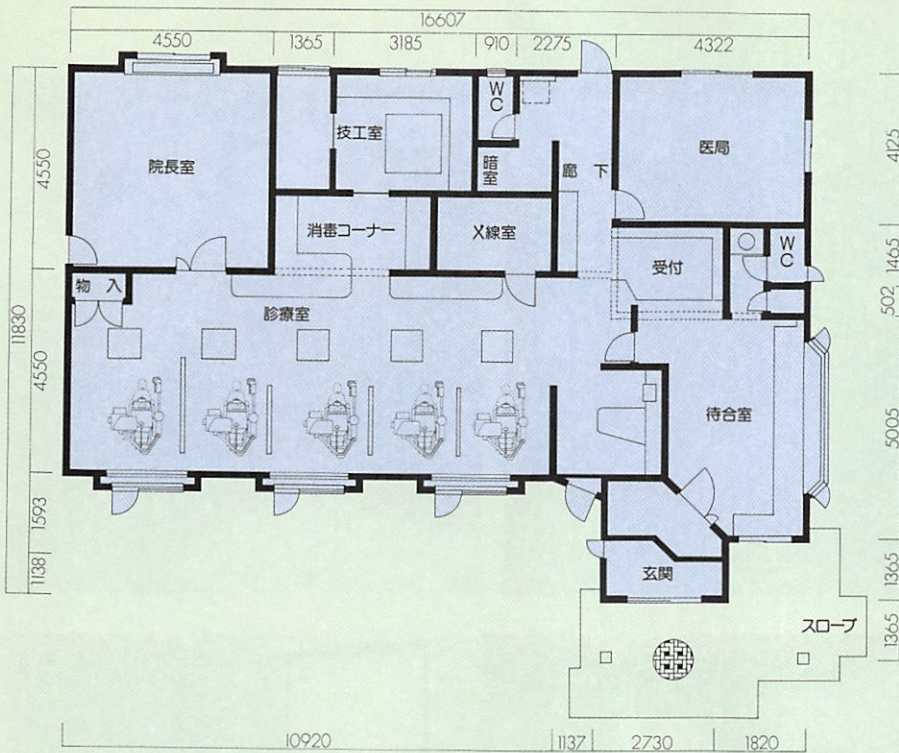
診療室は、淡いグレーの床。通路の中心に各ユニットごと、やや濃いめのグレーでL字型を描き、ユニット番号と続いて患者誘導方向が示されている。間仕切りは1～4番は2つに折れて前面を固定、後部にキャスターがつき折半自由となっている。5番は口腔外科用とし、間仕切りは3枚式となっている。医

院側のちょっとした心使いであるが、人とあまり話したくない人、入れ歯を気にする層など、患者心理を考えれば…。歯科医院とすれば当然の配慮と言えるかも知れない。室内入口はカウンセリングコーナー兼ブラッシング指導室。机上はシャーカステンを入れ、フィルムビューアによる説明が出来るようになっている。

5台並んだ濃淡グレーのツートンカラーのスマイリー〈ファインL型〉室内色彩は総てモノトーンでまとめ、唯一の色はユニット全面の窓に取り付けられたピンクのブラインドのみ。高く取った天井は2ヶ所に、天窗がつき、そこから、青空が広がっている。患者さんはユニットに寝ても起きても、清々しい視界が目に入るよう工夫されている。

各所に斬新なレイアウト、アイデアが盛り込まれていると共にそれが統一されて考えられている為、若々しさの中にもゆったりとした安堵感を与えている。現代人の心理を掴んだ、熟慮された素晴らしい室内雰囲気である。

院長、副院長共東北大学歯学部第14回生。



- 設計・施工：三井ホーム(株)・都市工房
- 開業：平成3年4月
- スペース：155㎡(約47坪)
- ユニット：スマイリー〈ファインL型〉5台
- 診療時間：9:30~19:00(休日)木曜・日曜・祝日
- スタッフ構成：歯科医師2名、衛生士1名、看護婦1名、助手2名
- 患者数：1日約40名



院長：砂砦清先生 副院長：砂砦亨子先生

院長は卒後そのまま医局にとどまり手島教授のもと第2口腔外科教室で約3年半ほど研修生活を。その後さらに宮城県の公立病院の医長として臨床医の第一線を約3年半経験されたと言う、豊かなご経歴の持ち主。

副院長は卒後県内・松島海岸にある同校の第1回生が所長を勤める診療所で臨床を4年半経験。そこで学んだ小児・矯正を更に伸ばそうと東京にもどり国立小児病院を経て、昭和大学歯学部矯正科(福原教授)で研修生として学ぶ。現在も月1~2回同校に通われていると言う努力家。

ご夫妻とも卒後のご経歴が臨床、研修が逆になっているものの、十分な経験を積んだ後のご開業である。

Q：お2人共充分なご経験を積まれ…。歯科医師を志された動機は？

院長：高校時代は東大へ行って、物理学の研究者になりたかったのですが、他の職業も大変なようだし…。医者も考えたのですが、医者は夜も働かねばなりませんの

で、診療後は自分の時間が持てる歯科医を選びました。でもまだ開業まもないのでかも知れませんが、診療後も何やかやとあり、結局夜も働き寝るのは2時位になってしまいます。

副院長：初めは医者も考えたのですが、高校時代は医者という、すぐ外科を考えてしまうでしょ(笑)。女性の外科医ですと患者も不安になってしまうのではないかと歯科医を選びました。子供が出来た場合、男なら本人の希望にまかせますが、女の子でしたら歯科医を勧めるかも知れませんね。女性に向いている職業だと思いますから…。

Q：広い敷地、申し分のない建物。ご自身で？

院長：土地は親が先祖代々持っておりまして、それを。その分建物に投資しました。大部分は借入金ですが、後で改装するよりも、投資は大きくなりますが、キチッと納得のいく建物を初めから建てた方が良いと思ひまして。土地は全部で500

坪あります。親には感謝しております。
副院長：初めは大きく立派すぎるのでは、と思ひましたが…。万一来院者が少ない場合は義父が農家ですから食物は困らないだろうし、その際は2~3ヶ月のんびり暮らそうと(笑)。でもすべり出しから順調で…。お陰で趣味に凝る時間もなくなりました(笑)。

Q：患者層は？

院長：幸い父が地元で信用がありましたので、地元の患者さんが1/3位。それとここは高速道の側道沿いですので、車を使って通





働かれる方が見ているんですね。かなり遠方の方が通勤途中に来院されたり、駐車場が広い為か、10トン車を乗りつける運転手の方が来たりします。私達の良い意味での計算外でした (笑)。

Q：保険と一般との割合は？

院長：矯正を含めての一般が約1/4、3/4が保険です。一般は父からの紹介患者に多く、保険でなくても、良い治療をとにかく、という人が結構多いのです。地方は保険がほとんど聞きますが、その点は恵まれていると思っています。

Q：奥様、これから出産・育児とありますが、その時は？

副院長：先輩などを見ていまして、確かに大変だな、と思うことがありますし、プランクは出来ると思いますが、小児をやっておりますと、小児歯科医は子供を持って初めて1人前と思われる部分もあります。今は子供を、なだめることは出来ても叱ることは出来ませんから (笑)。それと矯正治療はお腹が大きくても期間も長

いですから、なんとかやらなくてはと思っています。その点住居と隣り合わせなので助かると思います。

院長：もしどうしてもその時は後輩の方々に頼んで…。若い先生方と共に勉強しながらやって行きたいと思っていますから…。2人ですし、その点はあまり心配しておりません。

Q：診療室を作られるにあたって留意された点は？

院長：色々見て来て、自分が患者になってみたら、どんな医院が気持ちが良いだろうと、それを想像しながら…。地元の山岸

さん (オサダ代行店) と合い、その人柄に接し、この人となら行けるぞ、と。総てお願いしました。又、宮城県で開業準備、毎週末新幹線で通って準備。その間もオサダの仙台支店と宇都宮支店の連携プレーで大変助かりました。

副院長：受付はホテルのフロントのイメージで。カウンセリング兼ブラッシングコーナーは利用しやすい様に入ってすぐの所に設置しました。受付に近いので子供さんの治療後、気軽にお母さん呼び注意事項などが話せます。多方面に利用出来良かったと思います。主人の発案ですが (笑)。

Q：スマイリー〈ファイン〉を選ばれたのは？

院長：オサダのショールーム (五反田) には2回行きました。色々試してみると、やはり〈ファイン〉が一番使いやすく。ちょっと高価ですが、機能的、衛生性、オサダのアフターケアに魅かれてしまいました。患者さんもわかってくれると思



います。

Q：最後に友人、知人にご伝言は？

院長：卒後以来まだ同窓会は2回しかやっておりませんが、ぜひ又会いたいですね。我々は体が資本。健康には充分気を付けて下さい。

副院長：いま健康のために水泳をやっています。年齢とあきらめず記録に挑戦していますが、自分の身体は自分でチェックしながら、とにかく健康を。頑張ってくださいね。

〈設計・施工の立場から〉

関越高速道路を東京から新潟方面に向かって高崎ICを過ぎるとすぐ左側に、「いさはい歯科医院」の白い建物が見えてくる。この建物は、F.L. ライトのデザインをモチーフとしており、寄棟を基本に屋根の美しさを強調し、外観を引き締める為に外観のコーナー部分には石を貼った。広い敷地に水平方向に伸びる建物、それが、周辺の田園風景と調和してアメリカ大草原の白い家を連想させる。

高崎市の郊外という恵まれた立地条件のもとで十分な敷地を利用して、プランも伸々したものにすることができた。診療所併用住宅である為、診療所の独立性の確保が第一という観点から診療ゾーンは平屋とし、住宅ゾーンとドア一枚でつながるのみにした。又住宅からの音、視線、台所等からの匂いの影響を受けないよう外構計画の面からも配慮されている。診療室は、ルーフウィンドウからの採光もあり、明るく誰からも親しまれる場になるように、計画が成された。特に先生からの提案の床材（ビニール系シート）の貼り分けによる各ユニットへの案内表示（数字及びラインによる）のもたらず効果は遊心満点である。

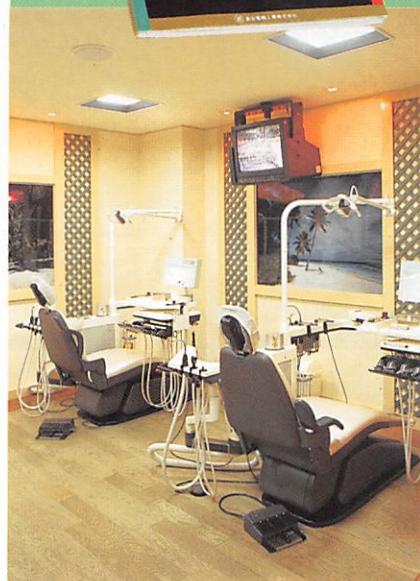
元来、気密性、断熱性の高い2×4工法であるが、診療の効率化、室内環境の安全を得る為に、開口部にはペアガラスのプラスチックサッシを用いて、2重、3重の高断熱化が計られており、意匠面以外でも細かい配慮がなされている。

三井ホーム株式会社
設計 都市工房 福田

新築・改築・増築
のすべてがわかる

歯科医院 開業ガイド

定価10,300円(本体10,000円)



〈主な項目〉

- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトのチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
- これから開業される先生方へ—オサダからのアドバイス
 - 開業と税金の知識

〈別冊付録〉

歯科医院に必要な
設備機器、器具、材料リスト

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎ 03(3492)7651(代)



サトミ
歯科
医院

DENTAL SPACE

サトミ歯科医院

横浜市鶴見区菅澤町14-10
ヨコヤマコーポ No. 3

佐藤 肇
佐藤里美 (旧姓・長島)

SATOMI
DENTAL
CLINIC

定礎
二 平成十五年三月廿一日
本館長 佐藤肇 院長 佐藤里美

**限られたスペースですので、
無駄を一切排除し、
自由に動き回れる明るい環境を、
と心掛けました。**

京浜急行鶴見市場駅から国道1号線を横切りおよそ4~500m。付近は商店、町工場、マンション等がギッシリ建ち並ぶ下町的な風景。ご紹介の「サトミ歯科医院」も通りに沿ったグレーのタイル貼りのテナント用マンションの1階にある。入口に置かれた表示は白地にブルーとオレンジの2色で、一見して若々しくやさしいイメージが伝わってくる。

正面は総ガラス貼りで左半分が診療室、右半分が待合室。細型のブラインドを通して中の様子がよくわかる。

大きくはないが、地域に溶け込み、住民が

気軽に入れる雰囲気仕上がりになっている。

待合室は、黒の椅子にグレーの木目状のビニタイルの床、天井、壁は白。受付はやや大き目のオープンスタイル。

診療室も待合室と同色同材を使用。壁面に沿って濃淡のグレーのスマイリー<フラインL型>が2台。前医院で使用されていたオレンジとベージュのN型1台が並んでいる。2~3本の観葉植物と壁画以外、装飾品はほとんどないが、それがかえって全体をスッキリと統一し、スペース以上の広さを見せている。

肇先生、里美先生とも神奈川歯科大学の第

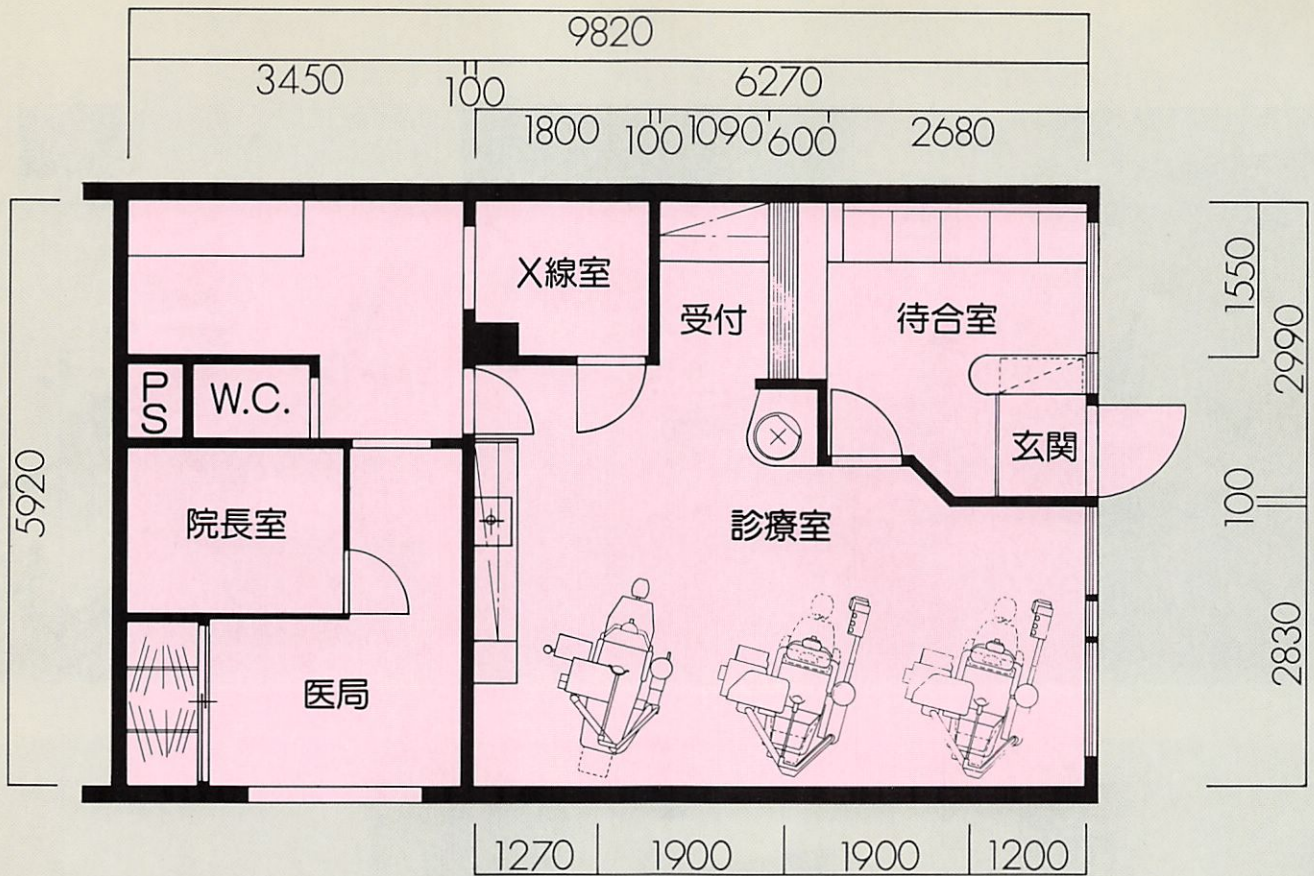
16回生。

肇先生は、あいにくこの日は途中から席をはずされ、写真でのご紹介は出来なかったが…。卒後は同大の医局で約3年。その後歯科医師に必要な各方面の学習を約3年、7月の開業時まで研修、勉強されていたという、そろそろベテランの域に達する青年医師。

奥様である里美先生は卒後、東京・五反田の宮田歯科医院で勤務医をされていたが、実家で開業中(東京・大田区)のお母様(日本女子歯科医専卒)の体調がすぐれず実家へ。6年余り診療されていたが、此の度ご主人共々此処鶴見に開業された。

ご夫婦揃っての息の合った診療ぶりが評判を呼ぶのか、開業まもないのに順調なすべり出している。

尚、今回はデンタル・スペースということでご主に里美先生からお話を頂いた。



佐藤里美先生

- 設計・施工：(株)プラス・シンセリティ ■開業：平成3年7月
- スペース：58.1㎡(約17.6坪) ■ユニット：スマイリー<ファインL型>2台、スマイリー<N型>1台
- 診療時間：10:00~13:00、14:30~19:30、土曜17:00迄、(休日)日曜、祝日
- スタッフ構成：歯科医師2名、衛生士1名
- 患者数：1日約30名

Q：順調なスタートのようですね。

里美先生：ええお蔭様で。開業時が丁度夏休み直前でしたので、開院と同時に子供達が。その後は付近の住民の方々や以前実家で診療していたことから、その患者さんが電車を乗り継いで来てくれました。初めは私1人でのんびりと(笑)、と思っていましたが、とても無理で。2人で一生懸命働いています(笑)。

Q：ここでの開業、何故に？

里美先生：別段理由はないんですが、昨年生麦にマンションを買いましたので、この付近なら自宅も近く、子供が出来ましても何かと便利だと思ひまして…。事務用の店舗でしたので総ての点で充分とはいきませんでした、それなりにまとまってひと安心というところですよ(笑)。

Q：ご留意された点は？

里美先生：とにかく限られたスペースですのでごチャゴチャさせないで…、待合室、全顎レントゲン、手洗い、消毒キャビネット等必要なものを最低限度に押さえました。ユニットの後面が思ったより広くとれて、動きも自由に出来ますので助かりました。

Q：サトミ歯科。奥様のお名前では？

里美先生：佐藤も考えましたが、どこにでもある名前ですので、サトミにしたなら、と。主人のアイデアです。

Q：お2人の診療上の流れは？

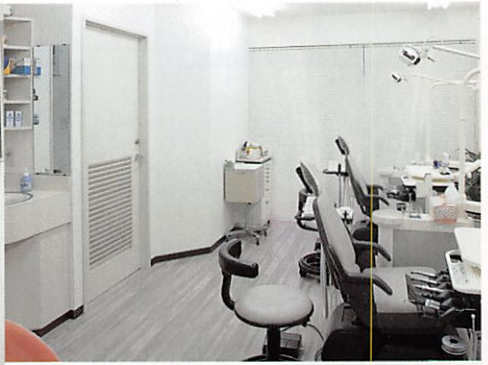
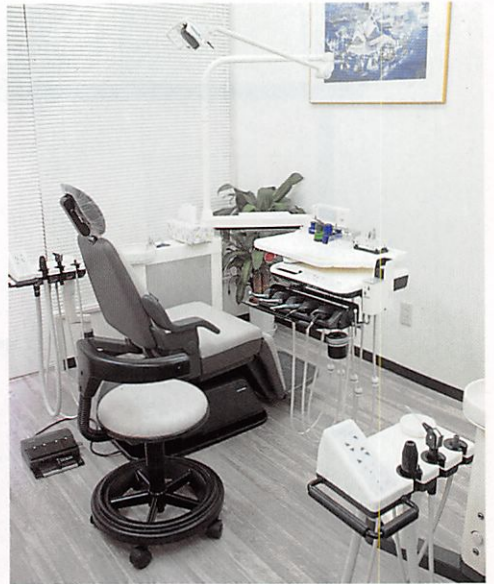
里美先生：私は老人や子供達が主体。主人は外科、保存等の勉強を長くしておりますのでそうした患者さんを。別に決めたわけではないんですが、得意な分野を自

然に流れて行っております。

Q：患者層は？

里美先生：午前中は自営業の方や主婦の方。午後は学生や子供達。最も忙しいのは夕方から、サラリーマンの方が会社を終わってから来院されますので…。





Q：この辺りも過密ですか？ 開業にあたって近くの歯医者さんには？

肇先生：2～3年後には増えて来るとは思いますがこの辺りはまだ割と少ないですね。開業にあたってはむろん挨拶はキッチンとしました。東京ではそんなことはないと思いますが…。自分を置き換えてみれば…。モラルの問題でしょうね。

Q：一般と保険、どの位の割合ですか？

肇先生：ほとんど保険ですね。東京の友人は1日20人も治療すれば良い、と云っていますが、この辺ですと…。ただ保険の中身、私達もそうですか技工士さんの苦勞も並大抵ではないと思いますよ。先々、期待も出来そうもないし、このままでは歯科医療の行く末が心配ですね。

Q：将来は？

里美先生：縁あってこの地に開業したので



から、地域の方々と密着し、この町にはあの歯科医院が必要だ、と云われるようになりたいですね。主人もお祭りの神輿をいっしょに担ぎますし…。町内会の方達も昔からの住民と同じように接してくれまして…。このままの状態を続け、地域歯科医療に少しでも貢献出来たら、と

思っております。

Q：里美先生、これから出産、育児とひかえておられますが、いかがですか？

里美先生：私は主人が歯科医ですので代診等の心配はあまりしなくても良いのですが、子育てという意味では女医はハンディがありますね。私は1人っ子でしたので、3人位は欲しいと思っているんですが(笑)。

Q：今まで女医として不満を持ったことは？

里美先生：終わるのが9時頃になる時もあるんですが、女性はそれから帰って食事の支度、休日は掃除、洗濯でしょ。でも男性はのんびり野球など見ていると、初めは損をしたような気持ちになったんですが(笑)、それも考え次第で…。仕事と主婦の両方をたのしむことが出来ると思えば…。子供が生まれたら又違って来る



かと思いますが、今は女で良かったと思っています。

Q：オサダのファイン、いかがですか？

肇先生：私は、材料屋さんに知人も多く、オサダは値引きも悪いから他社に決めていたんですよ。でも家内がオサダ、オサダ！と(苦笑)。でも使ってみると良いですね。エナックも4台ありますが、お蔭様で調法しております(笑)。

里美先生：1ヶ所て総ての操作が出来ますし、他社製品からの移行も簡単ですね。特にファインは咬合採得時に座位姿勢でキチッと採れますし、掃除も楽です。これは日々の女性の労力が全く違うと思いますよ。オサダを選んで良かったです、と主人も云っております(笑)。

<設計・施工をするにあたって>

以前は一般店舗であったところを改装。まず設計に入る前に歯科医院についての立地条件(テナント1階)は適切であるかどうかを、先生、オサダさん、商店の方々と十分にディスカッションの上決定、レイアウトをはじめました。

先生の希望で和室はスタッフが足を延ばしてくつろげるようにそのまま利用。トイレ、キッチン、出入口も手を付けずに利用する事にして、限られたスペースをスタッフの方がいかに働きやすくできるか、又、新・旧のキャビネットのコンビネーションはどうか等に気を配り、イメージ的に広さを強調するように仕上げ材料の選別と配色を考慮しました。

先生のお人柄がインテリアにも反映するように、明るく清潔で、患者がリラックスして治療を受けられるようムード創りにもところがけました。私共は医院創りの脇役として患者にやさしいインテリアは、医院のイメージアップにつながる事を確信して施工にあたりました。

(株) プラス・シンセリティ

資金計画から積極投資
までの経営がわかる

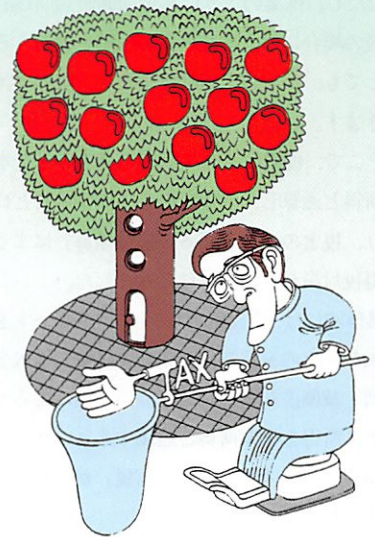
歯科医院 経営 マニュアル

定価6,180円(本体6,000円)



(主な項目)

- 開業準備の留意点
- 開業準備計画書/開業収支・資金計画書
- 歯科医の節税戦略(青色申告・特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却・MS法人・医療法人)
- 財テク・税テク 他



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎ 03 (3492) 7651 (代)

アシスタント紹介



医療法人社団 秀心会

渋谷オフィス 宮澤歯科
新宿オフィス 小滝橋歯科
目黒オフィス アルコデンタル
クリニック

院長 宮澤俊文

宮澤 正恵さん
今井 恵さん
押川 裕子さん
三谷 貴子さん
峯 晴美さん

目黒駅から徒歩で5～6分。昨年11月目黒雅叙園が大改装し、隣接地に地下3階地上19階のアルコタワーを新設した。内部は総て白・黒・グレーのモノトーンで統一し、機能一点張りのオフィスビルとは一味違った雰囲気を出している。その12階にご紹介のアルコデンタルクリニックがある。パノラマ状に広がる診療室からは都下城南の景色、続いて丹沢連山、その向うには富士の姿もクッキリと。オフィスビルにしておくのはもったいない(?)ような眺望である。歯に病む患者さんもここに座っただけで痛さも半減することであろう。

ご紹介の5人の女性スタッフは上記のように、医療法人社団秀心会として3院で形成されているため、新開業成ったアルコデンタルクリニックから3名、渋谷オフィスからと新宿オフィスからは、代表の方各1名にお出掛け頂きお話をお聞きした。

最初にご紹介するのは院長の姪にあたる宮澤さん。日本女子衛生短期大学を卒業後すでに4年。そろそろベテランの域に入られる衛生士さんだ。本院、小滝橋の各診療所で経験を積んだ後、昨年11月から、今後は当院の要(かなめ)になっていくであろうアルコD,Cへ。患者層については「前の2院は町中であって、子供さんからお年寄りの方まで患者層は広がったのですが、ここはオフィス勤めの方が中心ですから患者さんとの接し方も違ってきますね」とベテランらしく神経が行き届いたご返事。「私の使命は患者さんとドクターの中間にあって、お互いのコミュニケーション、流れをスムーズにすること、院内全体に活気を与えることだと思っています」とも。この仕事に対する感想は「この仕事に入る前は、衛生士ってもっときれいな職業だと思っていたんですが、入ってみたら全然違いました。でも実際やってみるとそれとは違ったたのしみ、子供さんの話を聞いたり、お年寄りの方から色々と学んだり、そんなことが私にとって良い勉強、やりがいとなりました」。チーフとしての責任感は? 「医療ですから万一の事故も許されませんから、云うべきことはたとえ一時嫌われてもいいから云わなければなりません。普段は皆同じ職場で1日過ごすのですから、とにかく仲良く明るくやって行こうと心掛けています。私自身も若いし、正直わからないことだらけですけど、毎日夢中です」。クルクルとよく動く大きな目が印象的だ。結婚は? 「25才までにはいきたいのですがこの医院が軌道に乗るまでは院長もやめさせてくれないと思います。その為には…」責任感も旺盛、院長にとっても頼もしい存在であろう。

次にご紹介は今年日本医学院衛生士専門学校を卒業されたばかりの今井さん。衛生士を志された動機は「小さい頃から歯が悪く歯科医院に通っていたんですが、そこで働いておられるお姉さんが親切でやさしく、歯医者さんに行くのが好きだったんです。あの友達みたいに自分もなれたらと思って…。小さい時の印象は強烈。歯科医院で働いておられる女性の皆さん、将来の子供の夢を壊さないで下さいね。ご出身は群馬県。現在結婚されたお姉さんの家から通勤中。「居心地が良く、アパートで1人住まいなんて全然考えていません。私って1人は嫌いですから…。スラリと背も高くやさしそうな目が印象的だ。

押川さんは今井さんと同年、同期生。この道に入った動機は「母が看護婦をしておりましたので私も、と思っていましたが、母が看護婦は夜勤もあるし大変だよ、と云われこの道に入りました」。で今の感想は? 「看護婦さんはどちらかと云えば病人の看護だけなのですが、衛生士の仕事は食物まで含めて人一人を改善して行く仕事ですから、やりがいもありますし、一方大変な職業だと思っています」。仕事上心掛けている点は「分院で6ヶ月間トレーニングを受けたのですが、とにかく忙しかったので、衛生士本来の仕事に時間がかけられなくて…。それを自分で、言葉にしてもわかりやすく簡潔に、いかに時間をかけずに伝え、又指導して行くかを心掛けています」。昨年卒業したばかりとは思えないしっかりとしたご返事。将来は? 「他の職業ものぞいてみたいという気持ちもありますが、この仕事も面白くやりがいがありますから…。たぶん続けてゆくでしょうね。でも結婚したら専業主婦になりたいな!」と、正直で現代っ



子らしいご返答。でも相手はまだいません、とキッパリ(?)。

三谷さんは日大松戸歯学部歯科衛生士専門学校卒業。2年程他院に勤め、その後転職し小滝橋の診療所に入局し既に3年。ベテランの域に入って来た衛生士さんである。志された動機は「親戚に歯科医、叔母さんが看護婦をしていたので医療関係に進みたいと思っていました。でも看護婦さんは大変だし、親がこの道を勧めましたので、わからないけれどとり合えず資格を取っておくのも良いと思いましたので…。でも人と接することが多いこの仕事は好きで、今は良かったと思っています。5名いるスタッフとも和気あいあい、今はこの職業以外は考えられません。冗談を云ったりなるべくたのしい職場に、を心掛けています。」ゆっくり丁寧に考えながら話す話し振りは患者さんにとってもうれしい衛生士さんであろう。

峯さんは本院を代表してご登場。キャリア3年の子供大好きのアシスタントさんだ。「本院は子供さんが多く毎日小児歯科診療時間が来るのがたのしみなんです。つきそいのお母さんが、あそこは子供にやさしい医院だと人づてに聞いて来院されるみたいでたのしい日々です」。女性スタッフが大切だと云われる所以はこんなところにもあるようだ。この職業に入って「この仕事についてから、人を思いやることを憶えました。性格はそうでもないんですが、表面はやさしそうって云われます。スタッフとも仲良くとってやっておりますが、やること、しなければならぬことは云いますし、時々生じるわだかまりはその日の内に解決することが大切だと思っています」。さすがは本院を代表するアシスタン

トさん。自身を見つめ、職場での立場をきちんと自覚しておられる。



院長 宮澤俊文

〈院長から一言〉

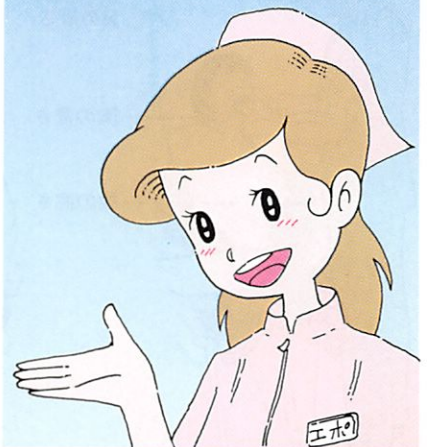
特別これと云って教育はしておりませんが、各自が自分の持ち場の中で能力に応じ精一杯やって行くこと。それを自覚することによって、同僚にも患者さんにも良い雰囲気となって表れるのではないのでしょうか。又、職場も含め、人間関係は人の生きることにとって最も大切なことですから、私自身もそうですが、色々な人と知り合い、その方達との交流をより良く保つことが人の心を豊かにすると思っています。現在総スタッフ21名。3院の経営に携わっておりますが、決して勤務医のみにはまかせず、日を決め私も共に治療しております。経営が苦しくなると、とかく歯科医に限らず、中を締めて効率的にと考えがちですが、私は多少出費は多くなっても目先のことにあまりとらわれず、人が人を呼び何時かは発展へと繋がると考えております。8名いるドクターとの連携も良く、女性の皆さんよく頑張ってくれています。又そうした雰囲気づくりは私自身の責任でもあると考えています。

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

診療室訪問シリーズ

武田歯科医院

東京都豊島区千早2-31-1 ラ・ポルポラ101

院長 武田和久

(日本大学松戸歯学部卒・34才)



一般歯科はむろんですが、
お年寄りやハンディキャップを持った方々に、
最も適したユニットだと思います。

地下鉄有楽町線千川駅から徒歩6〜7分。静かな住宅街の角地に建つマンションの1F。入口は段差とスロープの2通り、そのまま玄関から診察室へと車椅子使用者にも全く支障なく出入りが出来るよう作られている。内部のインテリアは白、濃淡のグレーとモノトーン系で統一。ダウンライトを各所に使用した成人層の都会人好みに仕上げている。窓に沿って並んだ濃淡グレーのスマイリーヘアフィンL型^{SMILEY FINE L}3台。内1台は長年勉強された麻酔学^{ANESTHESIOLOGY}・口腔外科専用ユニットとして間仕切りされている。傍らには完璧な麻酔装置一式が設置されている。院長の歯科医療にかける姿勢、方針がわかるようだ。院長は日大松戸歯学部を卒業後、大学院へと進み、その後も母校に残り助手を務め、開業中の現在も非常勤講師として母校に籍をおかれているとのこと。

「患者層は昼間は近所の家族の方々、夕方からは勤めから帰ら

れたサラリーマンの方が圧倒的です。来院者数は1日20人前後ですね。悩みは? 「複雑な問題はさておき(笑)、とにかくスタッフが足りないことです。私の方針を理解し、共に歯科医療に情熱を持たれる衛生士さん、アシスタントの方が入局してくれば、と願っています。お2人おられるスタッフの方々も院長のご性格からか、友達感覚でいたって明るい。爽やかな印象の診療室である。

◇ 大学、大学院、バイト先と色々なメーカー、機種を使いま

◇ スマイリーヘアフィンL型^{SMILEY FINE L}は、形、デザイン、一般歯科の機能はむろんですが、加えてお年寄りやハンディキャップを持つ方々のためには最も良く出来たユニットだと思います。



スマイリーファイン
SMILEY FINE L型

製造承認番号01B第0296号

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社顧客センター宛にハガキでご請求下さい。